新学年は学校の教科書の徹底的な予習を

―予習をしてわからないところをはっきりさせ授業に臨もう―

開倫塾
塾長 林　明夫

Q１：学校の教科書の予習は何のためにするのですか。

A　：(林明夫：以下省略)
　学校の教科書を予習して、わからないところをはっきりさせてから授業に臨むためです。「予習」の目的は、「何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨む」ことです。

Q２：何がわからないかをはっきりさせるためにはどうしたらよいのですか。予習の仕方を教えてください。

A　：(１)英語や国語、理科や社会は、まずは、教科書を一章ずつ通して読むこと。できれば、声を出して読む「音読」をおすすめします。
(２)スラスラよく読めるようになるまで何回も繰り返して声を出して読む練習、「音読練習」をしましょう。
(３)次に、声を出して読んでいて、よく意味のわからない語句があったら「印」をつけておいて、「辞書」や「参考書」を用いて、その意味を調べることです。調べた内容は、ノートに書き写すこと。書き写したことは、その場で何回か読み返し、「覚える」ことも大切です。
(４)更(さら)に、大切な語句や書くことが難しそうな語句は、「楷書(かいしょ)」、つまり教科書の書体で、正確に書けるようになるまで、「書き順」に注意しながら、何回も書いてみる。「書き取り練習」を行うことが「予習」としては大切です。
(５)①「スラスラよく読めるようになるまで音読練習」、②「よく意味のわからない語句は辞書や参考書を用いて調べ、調べた内容はノートに書き写し、その場で覚える」、③「大切な語句や書くのが難しい語句は楷書で正確に書けるようになるまで書き順に気をつけながら書き取り練習」をする。これが「予習」です。
(６)ここまで教科書を「予習」してよくわからないところがあれば、自分で考えた「よくわからないマーク」をつけ、学校の授業に臨んでくださいね。授業が面白(おもしろ)いほどよく「理解」できます。

Q３：「数学」や「理科の計算がある分野」はどのように「予習」をしたらよいのですか。

A　：(１)まずはノートを一冊用意。教科書の大切な説明はノートに書き写しながら、どのようなことなのか「理解」してくださいね。
(２)「例題」や「基本問題」「練習問題」「実力問題」など教科書に出ている「計算」や「問題」は、ノートにすべて書き写してください。

(3)書き写した問題や計算は四方を線で囲みましょう。
(4)その下に、自分なりの解答を途中の計算を含めすべて書き込んでください。解き方や解答がよくわからない「計算」や「問題」は空欄にしておきましょう。
(5)「正解」が教科書に載っている「計算」や「問題」は、「予習」のときに答え合わせをしてください。自分の「解き方」や「答え」が教科書と異なるときには、なぜそのような「解き方」をするのか、なぜそのような「答え」になるのか、自分でよく考えてください。このように「数学」や「計算を含む理科」の「予習」を行ってみましょう。
(6)学校の授業では、先生から「解き方」や「答え」をお聞きし、必要なことはノートに書き加える。なぜそのような「解き方」や「答え」になるのかを自分で考えることが大切です。

Q4:「予習」でここまでやる必要があるのですか。

A　:(1)「予習」とは「よくわからないことをはっきりさせてから授業に臨むために行うもの」だと考えれば、「予習」でここまでやるのは当然です。
(2)この「予習」の方法を用いて、学校の教科書を誰に遠慮することなくどんどん予習しましょう。できればゴールデンウイークが終わるまでに、おそくとも夏休みが終わるまでに1年分の教科書の予習を完了することを目指してください。この方法で予習し、授業終了後に教科書のスミからスミまで覚え切る「復習」を行えば、必ず学校の定期試験では満点が取れ、学校の校内順位は10分の1以内、1ケタ達成などが可能になります。
(3)開倫塾の塾生の皆様は全員が高校に進学し、高校卒業後は大半の方が大学・短期大学・専門学校に進学なさいます。大学進学を目指す高校では速いスピードで授業が進みますので、学校の教科書のこのような方法での「予習」は欠かせません。
(4)大学・短期大学・専門学校での授業に臨むときには、このような方法での「予習」が絶大な効果を発揮します。
(5)高校や大学の授業はこのような「本格的な予習」を前提に行いますので、小学生・中学生の塾生の皆様はその予行練習だと思って行ってくださいね。特に、高校生の塾生の皆様は、1日も早く、今回お伝えした予習の方法を身に着けて、新学年をお迎えください。

Q5:最後に一言どうぞ

A　:(1)「予習とはよくわからないことを明確にしてから授業に臨むために行うもの」という「予習」の「意味」、「価値」を十分に理解した上で、自分で予習の仕方を「自己決定」する。自分の行動を自分でつくった「ルール」に従ったものにする、「秩序」だったものにすることが、「自律的に行動する」上で大事です。
(2)開倫塾の教育目標の一つに「高い倫理」があります。「高い倫理」とは「自律的に行動する能力」を意味します。
(3)「予習」の「意味」、「価値」、「秩序」を考えながら「自律的に行動する能力」を身に着けることを目指してくださいね。

―2015年3月16日―